

令和7年度 地域医療機関への訪問活動報告

1. 訪問活動の基本方針（「令和7年度 訪問活動計画」から）

すでに確立している地域医療機関との連携関係の維持に加え、新たな連携関係の構築に向け、新規開業医療機関及び当院登録医療機関でありながら紹介が少ない医療機関を重点対象として取り組みました。

また、訪問時には、情報交換とともに当院に対する要望や満足度等の聞き取りを行い、地域医療連携の視点で把握した課題については、当院全体で解決を図ることを基本方針として取り組みました。

2. 訪問対象（「令和7年度 訪問活動計画」から）

- (1) 近畿厚生局のホームページから新規に開業する医療機関を把握し、開業後早期に訪問、その後3ヶ月間は紹介・逆紹介の動向を注視しながら集中的に訪問
- (2) 登録医療機関の内、当院への紹介がない、または少ない医療機関を中心に訪問
- (3) 各診療科医師及び医療職との地域医療機関への訪問
- (4) 紹介件数が大きく減少しつつある医療機関等を早期に把握し随時訪問
- (5) 後方支援病院への訪問

3. 実施状況

令和7年12月31日時

- (1) 新規開業医療機関に開業後早期に訪問、その後3ヶ月間集中的に訪問

全15医療機関にのべ36回の訪問を実施しました。

15医療機関中8医療機関には、開業日前に当院での面談または訪問を行い他7医療機関には、開業日から3日以内に訪問を行いました。

結果として12医療機関から合計120件の紹介実績があり、特に皮膚科や整形外科、耳鼻咽喉科といった専門診療科を標榜される医療機関で、当院の当該科医師との面談や同行訪問を行えた場合、安定的に紹介を得ることができています。

市域別の訪問医療機関件数は以下のとおりです。

枚方市	12件
交野市	1件
寝屋川市	2件

(2) 登録医療機関の内、当院への紹介がない、または少ない医療機関への訪問

令和4年度まで遡った紹介状況から抽出し、下表のとおり対象医療機関を医科歯科合わせて73件としました。

	医科	歯科
対象医療機関数	35件	38件（うち閉院3件）
訪問医療機関数	23件	27件
訪問実施率	65.7%	77.1%

【当院への紹介がない、または少ない理由】複数回答あり

- 他院の方が地理的に利便性が良い 13
- 特になし 9
- 患者の希望を優先 9
- 他院を優先 8
- 当院の対応に不満 4
- 患者のかかりつけ医療機関を優先 4
- 急患、救急患者を受けてくれない 2
- 他病院は予約が取りやすい 2
- 当院の診療の幅が狭い 2
- 専門性の高い診療科がない 1
- 返書が遅い 1

【上記のうち、交通アクセスが良いのに紹介が少ない医療機関の理由】

- 急患、救急患者を受けてくれない 1
- 当院の対応に不満 1

【当院への要望内容】

- 返書が遅い時があるので、なるべく早く返してほしい 3
- スピーディに受け入れてもらうため、他病院のように医師同士が直接話せるホットラインを設置してほしい 3
- 紹介による初診予約時の予約票の返信を早くしてほしい 2
- 救急で受診した患者を専門の診療科へスムーズにつなげてほしい 1
- 返書は受診報告書ではなく、治療内容の記載されたものがほしい 1

(3) 各診療科医師及び医療職との地域医療機関への訪問（面談）

訪問（面談）職員	訪問面談件数
糖尿病センター長医師	22
副院長（2名）	8
整形外科医師（2名）	5
乳腺・内分泌外科医師	4
皮膚科医師	3
放射線科診療放射線技師（2名）	2
脳神経外科医師	1
泌尿器科医師	1
	合計：46

これまでの当院のPRや顔の見える関係づくりに加え、医療情報の提供や患者及び地域医療機関ニーズに即した、円滑な紹介・逆紹介のための有効な意見交換の機会となっています。

(4) 紹介件数が大きく減少しつつある医療機関等を早期に把握し随時訪問

令和4年度以降及び直近の紹介数の動向から対象医療機関を抽出し、全15医療機関に訪問しました。

【減少理由】

- 他院の対応が良い 5
- 他院の方が地理的に利便性が良い 4
- 患者の希望を優先 3
- 理由は特になし（紹介する症例がなかった可能性） 2
- 当院の対応に不満 1
- 診診連携が増えた 1
- スタッフ減少のため予約取得が困難 1

(5) 後方支援病院への訪問

令和7年度に試行開始した「誤嚥性肺炎および尿路感染症の地域連携パス」運用の協力依頼と効果的な活用を目的としました。すでに後方支援病院として

連携関係にある8医療機関を対象とし、現在4医療機関の訪問を完了しました。訪問によって、患者の治療継続に向けた地域医療連携による具体的な提案を行うことができました。

4. まとめ

現在、延べ件数350件に訪問・面談を実施しました。また、登録医療機関約380件中190件に訪問し、訪問実施率50%となりました。登録後、訪問の機会がなく連携関係が形骸化しつつある医療機関への訪問に取り組んだことで、情報交換、相互理解の機会になりました。

訪問活動で聞き取る地域医療連携における当院への要望・期待の一つである「円滑な逆紹介」に対し、院内共有システムに訪問活動で得た医療機関情報をタイムリーに掲載し、医師が逆紹介・紹介の際の情報活用を図っています。また、紹介元医療機関への診療後の情報提供書作成の迅速化を図るため、担当医への通知方法を見直しました。

令和8年度も計画的な訪問活動を通じて地域医療の実情や医療体制の変化を捉え、相互理解を深めるための取り組みを進めたいと考えます。